

2025 年度 第 1 回理事会 議事録

1. 開催日時：2025 年 5 月 11 日（日）11：00～13：00
2. 開催場所：四国がんセンター 地域医療連携研修センター研修室 2
3. 出席者
理事：青野宏樹 宇都宮卓治 岡田未奈 小野達也 川上千晶 清水俊行 久枝正実 野村祐介 宮崎昌彦 山本良輔 渡部優作
監事：氏家昌樹
欠席：永淵克弥 成高慎祐
4. 議事
 - 1) 開会の挨拶
清水理事より理事会開催の挨拶があった。
 - 2) 書記の選出
清水理事より野村理事が書記に選出された。
 - 3) 第 8 期会長・副会長・事務局長・事務局の選出と承認
小野理事より清水理事を会長に推薦したい旨の発言があった。清水理事承諾の上、満場一致で承認された。清水会長より副会長に小野理事、岡田理事を推薦あり、小野理事、岡田理事はこれを承諾し満場一致で承認された。指名の順序は①小野理事、②岡田理事となった。
清水会長より事務局長に野村理事が指名された。野村理事はこれを承諾し満場一致で承認された。事務局については協議の結果、現在と同じく住友別子病院診療部臨床工学室を事務局とすることが満場一致で承認された。
 - 4) 第 8 期の活動方針について
清水会長より前期の活動を踏まえ、第 8 期では「会員目線」「顔の見える関係性の構築」「対面での交流」を重視した活動を進める方針が示された。
 - 5) 各委員会および部会の担当理事および委員の選任と承認
別紙 1 のとおり担当理事および委員長ならびに委員が選出され、満場一致で承認された。
なお今期から学会準備委員会の廃止、循環器委員会とオペ委員会を統合することで満場一致で承認された。
 - 6) 中四国臨床工学技士会連絡協議会、各委員会報告
別紙 2 のとおり、組織委員の宮崎理事、学術委員の岡田副会長、若手委員の小野副会長、事務局会の野村事務局長より各議事録に沿って各委員会報告があった。なお災害対策委員の永淵理事が欠席であり、代わりに清水会長から報告があった。
 - 7) 第 35 回日本臨床工学会への派遣検討
2025 年 5 月 16 日(金)、17 日(土)、18 日(日)に大阪で開催される第 35 回日本臨床工学会へ清水会長、小野副会長、岡田副会長、野村事務局長、宮崎理事の 5 名が派遣されることが満場一致で承認された。
 - 8) 継続審議事項
 - ・ 2025 年度愛媛県臨床工学会の開催について
2025 年 11 月下旬または 12 月上旬に開催予定。学会長は清水会長が務めることで満場一致で承認された。
 - ・ 功労者表彰
今回功労者として市立大洲病院の岩野氏を表彰することで承認された。表彰は今年度の学会にて実施予定とする。
 - 9) その他
 - ・ SNS の活用に関する提案と議論
委員会単位で SNS を運用する案が提示されるも、情報管理・発信体制などの懸念から継続審議とする。次回理事会までに「SNS 活用の在り方」について各理事が検討し、意見を持ち寄ることと

した。

- ・ 若年層への広報・進路支援活動

「お仕事フェスタ」などでの PR 参加案について賛同あり。中高生への職業説明会・体験会の実施を今後検討。

- ・ 会則の見直し、特に賛助会員の会費制度の見直しについて継続検討。

10) 事務局報告

野村事務局長より新入会員 6 名の報告があり満場一致で承認された。また異動 2 名、退会 1 名の報告があった。会費ペイの登録状況については 7 名が未登録であり対応継続中である旨説明があった。

11) 第 2 回理事会の日程調整

7 月 19 日 (土) 18:30～

5. 議事録確認

出席理事

清水俊行

小野達也

岡田未奈

野村祐介

青野宏樹

宇都宮卓治

川上千晶

久枝正実

宮崎昌彦

山本良輔

渡部優作

出席監事

氏家昌樹

6. 閉会挨拶

小野副会長より閉会の挨拶があった。

別紙1

委員会・部会	役職	氏名	所属施設
血液浄化委員会	担当理事	山本 良輔	佐藤循環器科内科
血液浄化委員会	委員長	白石 理	住友別子病院
血液浄化委員会	委員	杉田 潤	重信クリニック
血液浄化委員会	委員	青野 迅矢	くろみつクリニック
血液浄化委員会	委員	辻 彰	北条病院
血液浄化委員会	委員	井上 徹也	三島クリニック
血液浄化委員会	委員	伊藤 綾香	住友別子病院
血液浄化委員会	委員	三浦 健太郎	済生会西条病院
渉外部	担当理事	渡部 優作	放射線第一病院
渉外部	部員	品部 雅俊	愛媛大学医学部附属病院
渉外部	部員	一色 謙介	済生会今治病院
事務局	事務局長	野村 祐介	三島クリニック
事務局	局員	松本 健嗣	三島クリニック
内視鏡委員会	委員長	高橋 祐樹	住友別子病院
内視鏡委員会	委員	松本 健嗣	三島クリニック
内視鏡委員会	委員	松本 真哉	済生会今治病院
内視鏡委員会	委員	奥平 直紀	四国がんセンター
内視鏡委員会	委員	品部 雅俊	愛媛大学医学部附属病院
若手委員会	担当理事	小野 達也	住友別子病院
若手委員会	委員長	井上 千騎	四国がんセンター
若手委員会	委員	池上 虹	公益社団法人地域医療振興協会西予市立西予市民病院
若手委員会	委員	大北 茉耶	佐藤循環器科内科
若手委員会	委員	武田 星太郎	住友別子病院
若手委員会	委員	玉井 涼葉	済生会今治病院
若手委員会	委員	中島 大地	市立八幡浜総合病院
災害対策委員会	担当理事	永淵 克弥	松山市民病院
災害対策委員会	委員長	荒水 裕	済生会西条病院
災害対策委員会	委員	久保 章	市立宇和島病院
災害対策委員会	委員	松下 浩幸	市立大洲病院
災害対策委員会	委員	高橋 成実	愛媛県立中央病院
災害対策委員会	委員	上野 元裕	松山赤十字病院
組織強化職能委員会	担当理事	宮崎 昌彦	住友別子病院
組織強化職能委員会	委員長	川上 千晶	愛媛大学医学部附属病院
組織強化職能委員会	委員	松下 浩幸	市立大洲病院
組織強化職能委員会	委員	吉岡 淳志	十全総合病院
組織強化職能委員会	委員	新城 美希	市立宇和島病院
循環器・手術・機器管理委員会	担当理事	久枝 正実	愛媛県立中央病院
循環器・手術・機器管理委員会	委員	松尾 光徳	今治第一病院
循環器・手術・機器管理委員会	委員	高瀬 和則	市立宇和島病院
循環器・手術・機器管理委員会	委員	青野 宏樹	四国中央病院
循環器・手術・機器管理委員会	委員	青木 究	愛媛労災病院
循環器・手術・機器管理委員会	委員	浅木 康志	愛媛大学医学部附属病院
循環器・手術・機器管理委員会	委員	黒川 千祐	済生会今治病院
校閲部	担当理事	宇都宮 卓治	広瀬病院
校閲部	部員	清水 俊行	四国がんセンター
校閲部	部員	小野 達也	住友別子病院
校閲部	部員	氏家 昌樹	済生会今治病院
校閲部	部員	成高 慎祐	なかの泌尿器科
校閲部	部員	井関 厚志	四国医療技術専門学校
呼吸療法委員会	担当理事	青野 宏樹	四国中央病院
呼吸療法委員会	委員長	平川 太基	愛媛大学医学部附属病院
呼吸療法委員会	委員	早田 博行	愛媛医療センター
呼吸療法委員会	委員	青木 将吾	市立宇和島病院
呼吸療法委員会	委員	平良 百萌	愛媛大学医学部附属病院

令和 7 年度 第 1 回中四国臨床工学技士会連絡協議会 組織委員会 議事録

日時：令和 7 年 4 月 19 日（土） 13：00～14：45

場所：エールエール A 館 6F 会議室（広島市内）

＜出席者＞

組織委員

鳥取県：藤原 弘昌 島根県：錦織 伸司 山口県：和久 益寛 徳島県：近田 優介

高知県：濱田 あすか 愛媛県：宮崎 昌彦 岡山県：西江 和夫 香川県：秋山 精彦

広島県：高橋 秀暢

オブザーバー

日臨工理事：肥田 泰幸、野村 知由樹、福田 勇司（欠）

日臨工専務理事：青木 郁香（欠）

日臨工監事：高山 享

日臨工組織強化職能委員会 女性活躍実現 WG：松本 恵子

【資 料】

資料 1 告示研修受講率 JACE_HP

資料 2 組織委員会・若手委員会コラボ企画

資料 3-1, 2 中四国臨床工学会 功労者表彰 推薦状 山口県、岡山県

資料 4-1, 2, 3 女性活躍実現 WG 議事録 2024 年度第 2 回、3 回

【審議事項】

1. 委員長、副委員長、書記の選出

（中四国臨床工学技士会連絡協議会 組織委員会細則第 8 条）

委員長、副委員長及び書記の選任は、期首の委員会時に委員の中より互選とする。

2024 年度に引き続き委員長 宮崎氏、副委員長近田氏、書記西江にて承認された。

2. 告示研修、2025、26 年度について・・・・・・・・・・ 資料 1 告示研修受講率 JACE_HP

1) 2025 年度 （残席数データ：4 月 8 日）

- ① 2025/08/09(土)～08/10(日) 広島産業会館（120 人） 残席：0
- ② 2025/08/30(土)～08/31(日) あわぎんホール（108 人） 残席：51
- ③ 2025/11/01(土)～11/02(日) 岡山国際交流センター（80 人） 残席：0
- ④ 2026/01/17(土)～01/18(日) サンポート高松シンボルタワー（100 人）残席：71⇒64

【残席数について】

- ・ 徳島：徳島会場残席有。近隣各県、中四国各県ぜひ参加してほしい。自県の声掛けも継続予定。徳島県で肥田連盟理事長の職能に関するセミナー開催後施設より一部支弁の動きが始まった。告示研修参加の環境整備に有効であった。
- ・ 愛媛：現状の受講状況を鑑みると 26 年度の自県開催を受けると満席に出来ない可能性が高いため、立候補は見送りたい。

- ・ 香川：残席数が可視化できなくなっているため状況⇒肥田副理事長より情報共有することになった。交通の便で、香川会場は徳島会場に比し四国のみならず中国からも参加見込まれる背景があるか。
- ・ 高知：1 回目開催は 89 人自県参加（定数 90 人会場）。その後、2 回目の高知開催希望アンケートを高知代表者に行った結果、希望者は 70 人であった。その場合 90 人会場より残り 20 の対応行う。施設の会員数が多いが職能の理解不足の施設代表者に声掛けする。
- ・ 島根、鳥取：自県開催ないが受講率高い。
- ・ 山口：費用支弁施設会員は大都市圏での参加が多い傾向。
- ・ 広島：透析大規模施設で支弁ある情報有るが個人意思となっている模様より声掛けする
- ・ 岡山：告示研修の説明の際は職能に関する啓発もセットで行っている。透析施設の参加は多い印象。

高山監事：告示研修の参加率を上げておくとか回の職域拡大に繋がる。次世代の職域確保のためにも職能教育が重要。

★残席数を埋めるよう各県協力進めること確認された。

2) 2026 年度中四国ブロック告示研修開催会場について

2026 年度に予定されている中四国ブロック地方開催 2 枠の開催地を協議する。

広島、高知に未受講者多い状況

四国：徳島県も自県開催の意向有るも高知開催で承認。

中国：残数多いことと、会場が 120 人と多いので広島開催で承認。

新人が日臨工に加入し告示研修参加のタイミング考えると年度末が参加しやすいか

★当組織委員会では 2026 年度は広島県および高知県開催予定となることが承認され、連絡協議会へ提案することとなった。

3. 日本臨床工学技士連盟「団体会員」の各県の現状と対策

1) 連盟団体会員について各県の状況および対策について情報共有したい。

- ・ 愛媛：団体会員制度は、旧制度（ワンコイン）に加入中。次年度で取り組みたい。
- ・ 徳島：細則変更し技士会年会費に組み込み加入率 100%。技士会年会費徴収 10・11 月とした。
- ・ 鳥取：今年度定款変更し技士会会費に組み込む
- ・ 島根：団体会員移行済（ワンコインから会員微減 継続の回答率 75%。25%は未回答
- ・ 香川：団体会員推進予定。連盟担当者が説明会開催する予定。
技士会年会費 2000 円⇒5000 円変更直後の連盟会費の追加負担が課題となっている。
- ・ 岡山：オプトアウト方式で団体会員は 53%加入率
- ・ 高知：定款変更し団体会員へ。技士会年会費に組み込む（100%）
- ・ 広島：今年度団体会員へ移行する。定款変更団体会費に組み込む（100%）
会員継続の意思確認は最初に確認のみ、
- ・ 島根：会員管理システム導入し適用。オプトアウトで連盟会員微減した。

- ・ 山口：団体会員について県内に一部説明しているが今年度総会にて説明する。

肥田副理事長より日臨工退会 1000 人/年の状況であることと、技士会会員数が多くなると意見の対立が表出される傾向があるので注意が必要。

2) 夏の参議院議員選挙について情報共有

肥田連盟理事長：日本臨床工学技士連盟は、かまやちさとし氏推薦。医療系議員減や選挙で上位当選でないと政治的交渉力が下がるので選挙時には得票数を上げてほしい。

個人情報保護の観点より従来の名簿収集より LINE を使用し「つながり」を重要視していきひいては、診療報酬、給与へ結び付け意識改革したい。選挙対策は検討中。全国区でかまやちさとし氏（医師会副会長）岡山選挙区はこばやし孝一郎氏。まずは当選してもらい医療全体で底上げしていくしかない。よって名簿はつくりたくない方向性。

連盟公式 LINE に登録進めていきたい。日臨工公式 LINE も登録をしてほしい。

4. 第 15 回中四国臨床工学会 組織委員会企画・資料 2 組織委員会・若手委員会コラボ企画

宮崎委員長より、第 15 回大会の兼長学会長より組織委員会企画で 1 コマ頂けることになった。

内容・登壇者についてご意見をいただきたい。

⇒若手：30 歳代後半まで 課題の多い県、組織化されている県に登壇検討中。

参加（集客）対象者、流れは再検討（委員長）

5. 2025 年度 中四国臨床工学会 功労者表彰 ・ ・ ・ 資料 3 中四国功労者表彰推薦状

岡山県、山口県から推薦状の提出があった。当委員会で承認となった。

【報告事項】

1. 令和 6 年度 第 1 回理事長あり方の取り組みや見通し

- ・ 近田副委員長より会議が 2 回開催され内容報告があった。

第 1 回 2024 年 8 月 19 日（月） Web 開催

理事長の立場を①常勤（年収＋住宅手当）②現職を続けたまま兼任③現状のままのどれが適任か。との意見に全委員が①常勤であることが望ましいとのことになった。

第 2 回 2025 年 2 月 19 日 Web 開催

理事長のタスクや報酬についての説明があった。収益、予算、報酬などの質問が複数の委員からあり運営委員会に報告および確認する運びとなった。

今後のスケジュールとして、2025 年 5 月に都道府県代表者会議（大阪）で現状報告。2026 年総会で承認を求めるとなった。

2. 女性活躍実現 WG

＜中四国ブロック＞

- ・ 第 5 回座談会_中四国ブロック女性活躍実現 WG_20241106
- ・ 第 6 回座談会_中四国ブロック女性活躍実現 WG_20250120
- ・ 第 7 回座談会_中四国ブロック女性活躍実現 WG_20250217

- ・中四国ブロック女性理事数、会員数調査報告
(中四国連絡協議会 Google ドライブに保存済)

https://drive.google.com/drive/folders/1NRBtkjg7w1G0cDg-Si3jls0uaY3GgPZ?usp=drive_link

- ⇒愛媛大会の検証、中四国広島大会企画準備している
- ⇒データ日臨工と都道府県の女性比率は特に問題なかった。
- ⇒愛媛では女性活躍に関する部門を作ることになった

<日臨工女性活躍実現 WG> 資料 4 女性活躍実現 WG 議事録

- ・2024 年度第 2 回女性活躍実現 WG_20241216
- ・2024 年度第 3 回女性活躍実現 WG_20250225
⇒ブロック合同会議を開催することとなった

3. 日臨工代表者会議 WG

第 20 回全国都道府県臨床工学技士会代表者会議

会期：2025 年 5 月 16 日（金）15:30～17:30

GD テーマ「技士会に協力的ではない施設代表者を振り向かせるアイデアを考えよう」

- ⇒今回の代表者会議ではグループディスカッションが企画されており、ディスカッションの話題を絞る目的で業務実態報告について話題が提供されることになっている。またグループ分けについても実態報告の回答率や各県の人口も考慮にいたったものとなっている旨、宮崎委員長より報告があった。GD のファシリテーターに中四からは錦織会長（島根）と清水副会長（愛媛）が選ばれており 24 日に Web ミーティングが予定されている旨、情報共有があった。

【その他】

連絡協議会議案の共有

1. 臨床工学技士志望者の動向と対策

臨床工学技士養成校の入学人数がコロナ禍以降に激減しており、低賃金が一因とされています。職業情報提供サイト jobtab の年収データは、臨床工学技士がその他の保健医療従事者」として集計されているため実態を反映していません。

(<https://co-medical.mynavi.jp/column/me/salary-me/>)。

このデータは、職業情報提供サイト(jobtab:<https://shigoto.mhlw.go.jp/User/>)で提示されているものです。データによれば、診療放射線技師の年収は 537 万円、臨床検査技師は 508.5 万円に対し、臨床工学技士は 459.3 万円と、年間 50～80 万円程度低いとされています。この状況を改善するため、以下の 3 点を提案します。

- 1) jobtab での「臨床工学技士」独立データ収集・提示を国に要望し、正確な情報提供を目指し国の統計変更に時間を要する場合に備える。
- 2) 日本臨床工学技士会の業務実態報告で詳細な所得データを調査し待遇改善の根拠を提案。
(年収は 2021 までは設問にあったが(いまはない))
- 3) 地域ブロックで医療機関と養成校が連携し、臨床工学技士の魅力を発信する普及活動を行い、入学人数の減少を食い止める。

資料 2

対策を怠ると、臨床工学技士の不足が深刻化し業務範囲拡大への対応も困難になるため早急な対応が不可欠です

高山監事: 期は第 9 期代議員及び役員選挙予定であり対応をお願いしたい。また今後、日臨工では代議員定数増員を予定しており、代議員の在り方も含め検討を始めて欲しい。

以上

資料2

中四国臨床工学技士会連絡協議会 2024 年度

第 1 回学術委員会 議事録

日 時：2024 年 4 月 20 日（土）13:00～14:07

開 催：愛媛県立中央病院 3 階 会議室

出席者

鳥取県：萩原 隆之	島根県：日野 厚志	岡山県：堀 純也
広島県：松田 政二	山口県：安本 圭亮	徳島県：道脇 宏行
香川県：村上 成重	愛媛県：山田 文哉	高知県：濱田 政彰

司会：山田 文哉

書記：松田 政二

1. 第 14 回中四国臨床工学会の進捗状況報告

開催日：2024 年 9 月 21 日（土）正午～ 22 日（日）午後予定

会場：アイテムえひめ

参加目標数：700 名、展示企業目標：40 社、登録演題目標：150 演題、
4 月 1 日より登録を開始、BPA に関しては募集期間の延長をしない旨を報告、
会場の都合により、一般演題の多くはポスター発表となる予定。

- ・3 連休もありホテルを早めに確保するように委員長より報告あり。
- ・ポスター発表に関しては座長をつけない自由討論方式となる予定。
- ・一般演題募集終了後 7 月 15 日までに採択通知を出す予定。
- ・一般演題は一部口演とする予定（採択方法は大会側一任）、口演となる演題は、BPA に漏れた演題を優先にするかなど検討予定。

2. 第 14 回中四国臨床工学会における学術委員会企画について

- ・学術委員会より企画を提出する予定。内容は統計関連（第 1 候補）、AI 関連（第 2 候補）の案が挙がる。それぞれ企画内容、講演者の推薦を 4 月中にメールで報告する。

3. 第 14 回中四国臨床工学会における演題登録と BPA 審査について

演題数や事前審査、査読項目および当日の審査と座長について

- ・一般、学生各 6 演題を BPA 演題とする予定。BPA の採択方法は鳥取大会と同じ 5 段階判定とする。岡山大会と同じ学会支援会社であり、集計方法は Google フォームを用いる。当日の BPA 学生演題の採点は「学生らしさ」を加点とした（委員会後の協議会において「学生らしさ」が曖昧で判定基準の明確化を問われたため再検討を予定）。

4. 第 14 回中四国臨床工学会における一般・学生演題登録の査読について

- ・一般・学生演題の査読、審査方法は昨年と同様に行う予定。

資料2

- ・査読期間は 6/5～6/23 を予定とする

5. 中四国臨床工学技士会連絡協議会の学術委員会細則について（別紙添付）

共有方法と改訂の必要性について

- ・肥田さんが中四国連絡協議会のホームページを作製中。運用が滞っているが将来的にはホームページに細則を載せる予定。
- ・学術委員会細則について学術委員会でまとめて各県で承認を得る。5 月末までに委員は細則に目を通し修正等を報告することとなる。

6. 現在、中四国臨床工学技士会連絡協議会で大会論文集について

- ・中四国臨床工学会での研究発表を論文にして発行する案が連絡協議会のメンバーより提案があった。全国の他のブロックでは論文集は作成しておらず、中四国で初めて実施するかは検討が必要である。各県のホームページや会誌に特集として掲載する案があるが、会誌の発行時期が各県で異なり風化する可能性が懸念される。また論文の提出を座長推薦にするか？ペーパーでない論文投稿にメリットはなく登録も少ないのでは？など検討事項は多く継続議題となる。

7. 各県のセミナー受講資格について

- ・日臨工会員、各県技士会会員の学会やセミナー参加費をどうしているか？各県の状況報告がなされた。日臨会員なら県会員と同等あつかいとしている場合が多いが、参加人数に制限をつける場合は自県を優先とするため案内に時間的な差をつける場合があると報告があった。

8. その他

BPA 演題の演題登録に際し追加の意見があり以下となった。

- ・BPA 演題登録欄に初回の発表かを報告する（チェック欄をもうける）
- ・BPA は大学が固まってしまうと会場参加者も発表者大学のみとなるため、採択方法の見直しも必要である。
- ・各県技士会で自県の大学に中四国臨床工学会の演題登録をお願いします。

以上

令和7年度 第1回中四国臨床工学技士会連絡協議会 若手委員会 議案書

日 時:2025 年 4 月 19 日(土)
場 所:エールエール A 館 6 階会議室
出席予定者: 鳥取県:北尾翔 島根県:三島千秋 岡山県:佐々木新
広島県:黒田聡(代行:羽原詠治) 山口県:鈴木雄揮 徳島県:山下翔
香川県:田井裕也 愛媛県:小野達也 高知県:川上剛
司 会:羽原詠治(広島県)
書 記:川上剛(高知県)

<議案>

1. 各県の活動状況の報告
2. 日本臨床工学技士会人材活性化委員会 報告
3. 2025 年(第 15 回)広島大会 報告
4. 2026 年(第 16 回)高知大会 報告
5. その他

1. 各県の活動状況の報告

鳥取県

- ・診療放射線技師会&臨床工学技士会レクレーションの開催
 - 日時:2024 年 5 月 25 日(土)
 - 場所:海浜運動公園キャンプ場
 - BBQ 親睦会
 - 参加人数: 診療放射線技師 大人:19 名 子ども:3 名
臨床工学技士 大人:16 名 子ども:15 名
- ・第 4 回キッズセミナーの開催
 - 日時:2024 年 11 月 24 日(日)にて開催
 - 場所:パープルタウン
 - 体験内容: 手術室ブース
内視鏡外科ブース
AED ブース
超音波エコーブース
- ・地元情報誌への掲載
 - 日時:8 月 4 日(日)
 - 鳥取県の広報誌(ままこっこ)よりキッズセミナーの取材があり、親子1組に対して医療機器 体験を行いました。

表 1. 参加者数

年代	人数 (人)		割合(%)
幼児	71	147	51.8
小学生	73		53.3
中学生	2		1.5
高校生	1		0.7
大人	118		86.1
合計	265		

表 2. イベントと知ったきっかけ

内容	件数(件)		割合(%)
パターン宣伝	36		13.6
チラシ	32		12.1
知人紹介	39		14.7
ままここと	102		38.5
当日会場	47		17.7
その他	インターネット	9	3.4
合計	265		

⇒広報誌(ままここと)に掲載した情報をみて参加頂いた方が最も多かった。

- ・親睦会の開催
- 日時:12月6日(金)
- 会場:鳥取県東部地区
- 参加者:20名

島根県

・親睦会

日時:2025年2月15日(土) 19:00～21:00

会場:松江市内飲食店

参加者:15名

内容:全会員を対象とした親睦会

・スポーツ交流会&お悩み相談会

日時:2025年2月16日(日) 13:00～16:00

会場:松江市総合体育館

参加者:16名

内容:スポーツ交流会は、バドミントンを行った。トーナメント形式にし、優勝者には景品を用意した。備品はレンタルレクリエーション保険にも加入した。

お悩み相談会は、ロジックツリーという問題解決手法を用いた。各自で今の悩み事(仕事、私生活)を見つめなし、悩み事の根本原因を明らかにし改善してもらう。

岡山県

①第12回 OT3 コラボセミナーin おかやま 本気で病院ごっこしよう！

2024年8月4日(日) ライフパーク倉敷

岡山県臨床工学技士会、岡山県診療放射線技師会、岡山県臨床検査技師会のコラボ事業
手術室(超音波メス)、内視鏡外科

187グループ 参加人数 611人

来場者全員に「01_日臨工 PR 資材の提供_240102」から申請した下記広報資料を配布した

資料 2

- ・CE 紹介_20233FY 作成
- ・おしごと年鑑 2023_別刷
- ・ここにジーンとくる！作品集_2022FY 作成

⇒コラボセミナーの広報は、各技士会HPに掲載・県教育委員会/市教育委員会/地方紙新聞
に後援頂き、近隣の小中学校にチラシを配布して貰っている。

②第 12 回トマト銀行 6 時間リレーマラソン 会員交流と CE の啓発活動

2024 年 10 月 13 日（日）

ランナー2 チーム計 21 名、応援者 4 名

参加者のグループ LINE を作って、情報伝達を行った

終了後の懇親会は 18 名が参加

③第 11 回 Y-CUP ミーティング

2025 年 3 月 2 日（日）岡山済生会総合病院

会員 19 名、当会 9 名、その他 4 名（備考：講師 4 名(内：若手講師 3 名))

追加講演あり(次期参議院議員選挙立候補予定者 小林孝一郎氏)

フジアール岡山観戦企画参加者 17 名

→ 若い人に政治に関心を持ってほしいとの思いで開催。内容的にも連盟（職能団体）につながる内容で非常に良かった。連盟に入るといった若手の意見もあり。

予定

①当会 HP を用いた県内施設紹介事業

当会 HP に県内施設一覧を Map で表し、県内施設を見える化する

②第 13 回トマト銀行 6 時間リレーマラソン

③第 12 回 Y-CUP ミーティング

広島県

- ・若手呑み会を開催（親睦会）

日時：2024 年 6 月 29 日（土）

会場：広島市内の居酒屋

内容：35 歳以下限定で親睦会を開催

参加者：会員 13 名／非会員 9 名

- ・新年会を開催（親睦会）

日時：令和 7 年 1 月 25 日（土） 19:00～

会場：広島駅周辺

参加者：33 名(理事・監事：13 名 親睦会委員：6 名 会員：11 名 非会員：3 名)

山口県

- ・2024 年 5 月 5 日山口市で開催された「青空天国いこいの広場」でキッズセミナーを開催。

⇒4 ブース「AED/生体情報モニター/内視鏡/ECMO」を 80 名の参加があった。

スタッフの負担を考慮し途中で一度締めて休憩を挟む等工夫した。来場したら行うので無く、

8 名毎等の人数枠を揃えてしっかり時間をかけて教えた。

- ・2025 年 3 月 22 日に毎年恒例の山口県・福岡県の合同事業を開催した。

資料 2

ビジネスマナー講習で名刺交換や電話応対など学んだ後、グループに分かれ病院内でのマナーについて座談会をおこなった。参加人数 24 人。

香川県

- ・あるある動画の作成 (YouTube)
- ・セミナーの開催
テーマ: そのお悩み相談してみませんか?
開催日時: 2024 年 11 月 7 日 (木) 19:00 ～ 20:00
会場: zoom によるオンライン会場

活動計画

- ・あるある動画の作成
- ・セミナーの開催 (内容は検討中)
- ・子供向けのキッズセミナー、職業体験イベントの開催 (企画中)

愛媛県

- ・ Web セミナーの開催
 - ゼロから学べるスライド作成セミナー～学会発表突破のコツを 1 時間にまとめてみた～
 - 会期: 2024 年 7 月 28 日 (日) 10:00～11:00
 - 事前申込 81 名／当日参加 67 名 (愛媛 30 名／中四国 21 名／非会員 10 名／学生 6 名)
- ・ 第 14 回中四国臨床工学会若手委員会企画の開催
 - connect cafe “しんか” 若手 CE お仕事座談会
 - 2024 年 9 月 21 日 (土) 15:00～16:30 (第 14 回中四国臨床工学会)
 - 事前申込 37 名、当日参加約 40 名 (+座長 2 名／登壇者 9 名／愛臨工若手委員 3 名)
 - コーヒーの淹れ方講座 + 若手 CE によるお仕事座談会
 - 座談会は、ドーナツとアイスコーヒーを提供するスイーツセミナー形式で実施した
 - 和やかな雰囲気が参加者同士の情報交換を促進し、親しみやすい関係を築く一助になった
 - 若手 CE に発表の機会を設けることで発表スキルの向上に寄与でき、本企画における反省点を翌日の演題発表に活かせたとの声も聞かれた
 - 日臨工人材活性化委員会ブロック活動費を活用させていただいた
- ・ 今後の活動予定
 - 若手が交流できる場を提供する事業 (飲食を伴うセミナー、親睦会、スポーツ観戦など) を開催したいとの意見が出ている。

資料 2

- 今後の事業の参考や、県をまたいだ繋がりづくりのため、他県の事業に参加してみたいとの意見も出ている。

徳島県

- ・ テーマ:「重症系分野医療の質向上を目指して～セーフテック®Pro インフュージョンシステム～」
日時:令和 6 年 12 月 14 日(土) 19:00～20:00
場所:川島病院 透析棟 4F 研修室
参加人数:21 名
ニプロ株式会社 医療機器センターの方を講師に招き、OP 室関連の輸液、シリンジポンプの講演・実機操作セミナーを開催した。
- ・ 若手委員会懇親会
日時:令和 7 年 12 月 7 日(土) 20:00～22:30
参加人数:16 名
- ・ 令和 7 年度は、医療機器に関するセミナーやマネーセミナーを検討中。また、若手委員会懇親会を年2回ほど開催予定。

高知県

- ・ 2024/11/10 資産形成セミナー「将来に向けて知っておきたいお金のはなし」Web セミナー開催
参加人数:21 名
内容:金融リテラシー/家計管理/資産形成の基礎や制度(NISA、私的年金制度)等
学術系以外のセミナーは数年ぶりの開催でありご参加頂いた方からは好評を頂きました。
- ・ 今年度活動に関して
県下の中学校/高校へ職業説明会「臨床工学技士のお仕事紹介」を開催検討中であり、現在委員と関係のある学校へ打診中で返答待ちをしている。

その他若手会員向けセミナーを企画検討中。

・ **各県の活動報告についての質疑応答**

・ **鳥取県へのご質問**

- ・ 情報誌を見ての参加が最も多かったが、予算を出して掲載して貰ったのか?
→ 情報誌側から掲載させてほしいと依頼があった。(地元情報誌)

・ **島根県へのご質問**

- ・ レクリエーション保険の内容は?
→ 金額:16 名で 800 円程度

資料 2

内容:レクリエーション開催へ当日向かってから帰宅するまでの怪我/入院に関しての保障で、
最大 300 万円程保障される

→岡山県佐々木様より

岡山県で毎年開催している病院ごっこでも、協力業者/スタッフ/参加者に対して体験中に怪我等してしまった時の為に 1 日だけレジャー保険に入っている。

費用は 1 万円弱程で後日人数を伝えても良いし名簿もいらないというものがある。

過去に養成校の学生さんにボランティアをお願いした際に、学生さんが医療機器を壊してしまった/怪我等をさせてしまった時はどうするのかと質問があり、技士会事業もこのようなイベントの際には保険に入らなければいけないと考え数年前から加入するようにしている。

保険費用は技士会予算(主催側)から捻出している。

- ・ お悩み相談会の内容は?

→ロジックツリーを用いて問題解決の手法を学んで貰った。特に主催側への質問等は無かった。
ロジックツリー手法を知っている人が 1 人いれば開催でき、今回外部講師等は呼ばなかった。

- ・岡山県へのご質問

- ・OT3 の予算はどこが出している?

→3 団体で持ち回りであり、セミナー担当/病院ごっこ担当と毎年分かれている。

- ・参加人数の内訳は?

→3 団体でのバランスは取れているが、主催団体がテーマを立案し進めていく為、そのテーマに興味のある主催団体にバイアスがかかっている印象はある。2023 年臨床工学技士主催の際には臨床工学技士会員が多かった。

- ・当日のスタッフ人数は?

→OT3 担当者は三役のみであるので当日のスタッフは理事や開催施設のスタッフをお願いしている。

- ・日臨工PR資材を教えて欲しい

→中四国若手委員会Slack内で共有する。

- ・来場者増加に関して

夏休み等で科学館(プラネタリウム等)のような施設の付近で開催を行うと、目的の前後で参加してくれる親子が多い。内訳としては現地からの参加が 50%程度、チラシ等による広報が 20~30%。

- ・広島県へのご質問

- ・若手呑み会で年齢制限に対する苦情等は無かったか?

(他県では一部の方を対象とする活動に対する苦言やエイジハラスメントだという声が過去にあった事もある)

→現在、広島県では苦情等はない。今後、参考にしていく。

- ・山口県へのご質問

- ・AED の担当者は BLS インストラクターの資格を持っているか?

→持っている人もいる。

→岡山県佐々木様より

日本光電に依頼すると必要機材や当日の教育も行ってくれる

→香川県田井様より

院内でのBLS講習受講が現在は必須となっている為、以前ほど責任問題は問われないかもしれ

ないが、実際に責任問題を問われた際の事を考えて、インストラクター資格等を持っている方が BLS 講習を行うのが良いかもしれない。

・ビジネスマナー講習の予算は？

→今回は 1 時間 1 万円程であり、企業に依頼した。

→岡山県佐々木様より

大学の先生等に依頼すると比較的安価で開催する事が出来る。

・香川県へのご質問

・あるある動画の視聴回数はどの程度？ YouTube 以外への展開は？

→一番多いので 200 回程。タグ付け等の工夫で視聴回数が増えていると分析している。

Instagram や Facebook への展開も検討中。

・お悩み相談の反響は？

→お悩み相談を受けても回答者の年齢が上だと同じ目線ではない為、ベストアンサーとはならない可能性はある。その為あまり口出ししないようにはしている。若手が意見を出すという場/練習という場になると思っている。

・愛媛県へのご質問

・ブロック活動費の詳細は？

→岡山県佐々木様より

Y ボード同士の交流や若手委員会同士の交流に役立つ内容に関して補助を行う。

昨年は中四国と中部の臨床工学会でそれぞれ使用された。スクラブ等技士会の資産になるようなものは NG であるが、若手委員の交流/活性化に繋がるような内容・企画に関連して使用するの OK であり申請が必要。

使用例) 6/2CE の日に併せたティッシュ配りの製作費、若手委員会企画地方会等で集客に必要なチラシの製作費、若手会員が多く交流出来るディスカッション企画等に必要な外部講師の講演料等。

・徳島県へのご質問

・セミナーの内容詳細は？

→メーカーより実機を持ってきて貰い実際に OP 室を模擬した形で設置し操作も体験して貰った。参加の年齢層は 20 代ばかりであった。

・高知県へのご質問

・職業紹介事業を実施するにあたり、学校に直接ポスター等を配布したりはしているか？

→現状実施しておらず、委員と関係のある学校へ直接打診をしている状態。

今後はその他の方法も状況によって検討していく。市役所によっては、担当地域の中学校へポスティングを行ってくれるような所もあると聞いているのでそれらの活用も考えている。

2. 日本臨床工学技士会人材活性化委員会 報告

①活動ポスター

各都道府県の若手活動

A3 サイズ

期限：2025 年 3 月 23 日

資料 2

②活動動画

ポスター内容参照、スライド→動画でも OK

1 分程度

期限：2025 年 3 月 23 日

③日臨工会期中の報告会参加

【大会】第 35 回日本臨床工学会

【日時】2025 年 5 月 17 日（土） 11:00-12:00

【場所】グランキューブ大阪 12 階ホワイエ

⇒広島県は参加可能か確認中。山口県/高知県は業務都合により参加出来ず。

④委員会企画

【大会】第 35 回日本臨床工学会

【日時】2025 年 5 月 17 日（土） 13:40～

【場所】グランキューブ大阪 第 2 会場

【日臨工 公式 youtube】

https://youtube.com/channel/UC3Fu_jbKEipc5QyH7CPtSBg?si=qlrlBu0y3ir6Dv1I

★第 35 回日本臨床工学会@大阪カウントダウン動画

☆日臨工 入会のすすめ動画

【日臨工 公式 LINE】

<https://line.me/R/ti/p/@883gsiuc>

⇒公式 LINE の登録者数増に向けて、各県で広報の実施をお願いしたい。

現在、CE の日コラボ企画で登録者にコラボグッズも抽選でプレゼント中。

3. 令和 7 年度(第 15 回)広島大会 報告

テーマ:step forward～伝統と革新、そして未来へ～

会 期:令和 7 年 9 月 06 日(土)、07 日(日)

会 場:広島国際会議場

→現在、若手企画として「若手懇親会」を検討中。各 9 県の Y ボードを中心に約 100 名(各県 10 名)程度の規模で開催を模索中。

⇒日本臨床工学技士連盟とのコラボ企画で、クイズ大会を検討中(ご当地スイーツも用意する予定)

また、学会発表の仕方・プレゼンの仕方のセミナーを検討中。

4. 令和 8 年度(第 16 回)高知大会 報告

テーマ:「舞～The Future Made by Education～臨床、手術、機器管理、研究みんな楽しい!!」(仮)

会 期:2026 年 12 月中(予定)

会 場:高知市文化プラザかるぽーと(予定)

学会長:岡田 恒典 実行委員長:未定 事務局長:仙波 大英

5. その他

・Y ボード担当者(連絡協議会参加者)に関してどのように決めているか参考にさせて頂きたい。

資料 2

⇒岡山県佐々木様より

岡山県は Y-CUP 委員会(若手委員会)委員長が務めているが、必ずしも理事では無い。

⇒香川県田井様より

香川県は各委員会に対して理事が 2～3 名担当している。担当理事の誰かが出席する形としている。

・非会員の参加がみられている県もあるが非会員への広報等はどうやって行っているか？

⇒事業の広報を非会員へ行うのは困難。

同施設の非会員へ会員より広報を行って貰う。技士会への勧誘をして貰う等を実施していくしかない。

・各県の懇親会費に関して

⇒会員のみ対象として技士会費から出している県もある。また会員/非会員問わず出している県もある。会員の場合、会費を払っているので会計上福利厚生扱いとなるが、非会員の場合接待費のような扱いになってしまうのでシビアに扱う必要があるとのご意見もあった。

また懇親会費の一部を補助として出している県もある。

・技士会予算に関して

⇒岡山県は会員管理システムや動画配信サービス等、次世代のなり手の事も考えて運営側の業務/事業を補助できるようなサブスク等にも予算を投入する事も検討している。

以上

令和 7 年度第 1 回中四国臨床工学技士会連絡協議会 事務局会 議事録

日 時 : 2025 年 4 月 19 日 (土) 13:00~14:30
場 所 : エールエール A 館 6 階会議室
出席者 : 雑賀真也 (鳥取県)、白築春奈 (島根県)、落葉佑昌 (岡山県)、野村祐介 (愛媛県)、
大野晶範 (山口県)、割石大介 (徳島県)、山本晃市 (香川県)、仙波大英 (高知県)、
兼長貴祐 (広島県)、
進行・書記: 兼長貴祐

【中四国臨床工学会 開催報告】

第 14 回中四国臨床工学会 (愛媛県)

会 期: 2024 年 9 月 21 日 (土)、22 日 (日)

会 場: アイテムえひめ

学会長: 宮崎 昌彦 実行委員長: 清水 俊行 事務局長: 野村 祐介

テーマ: 「しんか 〜深化・真価・進化〜」

・収支報告 (資料 1)

(一社)愛媛県臨床工学技士会野村事務局長より資料 1 に沿って、第 14 回大会の収支報告がなされた。

第 15 回中四国臨床工学会 (広島県) について

兼長事務局長より第 15 回中四国臨床工学会 (広島県) の進捗状況について下記のとおり説明があった。

会期: 2025 年 9 月 6 日 (土)、7 日 (日)

会場: 広島国際会議場

学会長: 兼長 貴祐 副学会長: 高橋 秀暢 実行委員長: 畑 秀治 事務局長: 半田 宏樹

テーマ: 「Step forward〜伝統と革新、そして未来へ〜」

(一社)広島県臨床工学技士会兼長事務局長より第 15 回大会の進捗状況と一般演題が 5 月末までの応募期間であるため再度協力依頼をされた。

また、学会 PR のため各県の学術大会や総会の日程を確認された。

愛媛県 5/11 現地、山口県 6/8 現地、鳥取県 6/8 現地、高知県 6/8WEB、岡山県 6/15 現地、
香川県 6/15WEB、島根県 6/22 現地+WEB、徳島県 7/27 現地

可能な限り参加させていただきたいと兼長事務局長より依頼あり。

第 16 回中四国臨床工学会 (高知県)

会 期: 2026 年 12 月 5 日(土)、6 日(日)(予定)

会 場: 高知市文化プラザかるぽーと(予定)

学会長: 岡田 恒典 実行委員長: 役員改選後に決定 事務局長: 仙波 大英

テーマ: 「舞〜The Future Made by Education〜臨床、手術、機器管理、研究みんな楽しい!!」(仮)

その他、技士会の事務局と学会の事務局を分ける必要性や実行委員長の役割など学会に関する情報共有がなされた。

資料 2

【各県事務局業務に関する事項】

・愛媛県臨床工学技士会 野村事務局長より以下の情報提供依頼あり。

- ① 学会収益の取り扱い
- ② 出張時の宿泊費
- ③ 講師謝礼金

(資料 2)

① に関して(一社)愛媛県臨床工学技士会技士会は雑収入として取り扱ったとの報告あり。

② に関して宿泊費の増額を検討している技士会が多くみられた。

③ に関して主に座長への謝礼に関しての情報共有がされた。

その他、学術大会大会長の各県の対応について求められ、情報共有がされた。一部の件では会長が大会長をするルールとなっているが、今後は持ち回り制の検討も必要。

・広島県臨床工学技士会 兼長事務局長より以下の情報提供依頼あり。

- ① 会誌、社員総会議案書、チラシ等の発送に関して
- ② セミナー開催方法（現地・WEB）と赤字セミナーに対する対策
- ③ 賛助会員の特典
- ④ 将来的な会費の増額について

(資料 3)

① に関して多くの技士会で郵送は行わず、メールや HP を介して情報提供されていた。

② に関して参加費や対象者から現地 or WEB を各県で検討され開催されていた。また、オンデマンド配信可能な企業に依頼し、現地 or WEB+オンデマンドでの収益と認定ポイントを付与する工夫もされていた。

その他、事務局の引継ぎについてどのような方法を取られているかとの質問あり。現時点で全県とも引継ぎに関するマニュアルやフローはない。今後の検討となる。

【中四国臨床工学技士会連絡協議会のレンタルサーバー、Google ドライブ等の運用について】

・連絡協議会 ML に各県の事務局アドレスも追加。

(今後の課題)

- ・レンタルサーバー費用の整理、クラウドの整理、協議会 HP の更新について
- ・事務局会引継ぎに関するマニュアル整備

今期中に上記内容について兼長事務局長が草案をまとめる。

岡山県 前事務局長藤原氏にもご教示いただきなら HP の更新を検討する。

【その他】

学術委員会細則改訂の承認について

(資料 4)

承認を得る。

資料 2

担当県（委員長）の変更のタイミングはいつなのか。

学会開催終了後の連絡協議会をもって次県開催への引継ぎと事務局内では認識されたが、協議会内で協議会規程を今一度確認し、改訂案を提出するよう求められる。継続議案として次回の協議会で再提案とする。

その他、日本臨床工学技士連盟団体入会県より未来購読の郵送について質問あり。

郵送費削減のためメール配信を行い、対面でのセミナー開催等でお配りするといった工夫をされている県があった。

【次回委員会開催予定日】

10～11 月に WEB で開催予定

令和 7 年度第 1 回中四国臨床工学技士会連絡協議会

災害対策委員会議事録

開催日時：2025 年 04 月 19 日（土） 13 時 00 分～14 時 45 分

開催方式：対面 エールエール A 館 6 階会議室

参加者：小川晋平（高知県）、岡田悠（山口県）、森西啓介（徳島県）
品川千穂子（島根県）、泉直也（香川県）、平山隆浩（岡山県）
永渕克弥（愛媛県）、井上堅司（広島県）

欠席者：高野岳（鳥取県）

進行・書記：井上堅司

1. 新規委員自己紹介

代理出席や入れ替わりなどがあったが、3 回目の開催で全県の委員が決まったので、改めて全員で自己紹介を行った。

2. 各県の災害対策委員会取り組み

前回委員会後から取り組みがあれば。

広島：

- ① 災害対策委員会は地区連携委員会と同じメンバーで立ち上げ、地区連携委員会の流れを引き継ぎ会員と地域間の連携強化を図るとともに、平時からメーリングリストを活用し会員施設と連携強化をして、災害時に迅速な対応ができるような情報の共有・収集・集約の体制づくりを行っている。
- ② 昨年岡山県で行われた中国ブロック DMAT 研修へ岡山県臨床工学技士会が参画していたので、広島県臨床工学技士会も同様に参画していきたかったのだが、上手く調整できず今回の参画は断念した。

岡山県：

① 委員会の体制変更

本年度より理事に就任し、各二次医療圏から計 8 名の委員を選出し、自身を含めた 9 名体制の委員会を発足させた。

② アンケートの実施予定

- ・災害対策委員会におけるセミナーのニーズ調査を実施予定である。
- ・また、大規模災害や感染症パンデミック発生時のサプライチェーン破綻を想定し、地域内

資料2

の医療資源を把握することを目的として、医療機器および医療消耗品の型式および保有数に関する調査を計画している。

③ 災害薬事コーディネーター研修会への参加

岡山県薬剤師会主催の災害薬事コーディネーター研修会において、講師およびワークショップ登壇者として参加した。他の登壇者は岡山県庁医薬安全課、日本産業・医療ガス協会、岡山県卸業協会であった。

今後、災害時に保健・医療・福祉調整本部へ参画する際には、これら関係機関との連携が重要となる。

④ Govtech Okayama への参画

岡山大学として、岡山市の要支援者の個別避難計画作成に関する課題解決に向けた実証実験に参加している。今後は本取り組みに臨床工学技士会の参画を予定しており、さらなる連携体制の構築を目指す。

愛媛県：

- ① 県技士会、災害対策セミナーを薬品会社とコラボして行った。愛媛県人工透析研究会との共同で災害対策訓練を行った。今後は透析以外の対策を深めていきたい。

香川県：

- ① 2月にzoomを使用した災害時の情報伝達についてのグループワーク形式の勉強会を開催した。初めての試みで混乱も生じたが、参加者からは良い機会となったとの意見が多く寄せられ、今後も勉強会の企画を行っていきたい。

山口：

- ① 委員会を立ち上げるために委員を3人集めて、定款を作成した。
- ② 透析災害時のDMATを想定して9月に災害訓練をしたが、EMISに何をどのように入力するかわからず、訓練のための訓練が必要であったと感じた。
- ③ 今度のDMAT災害訓練は山口で開催されるので、山口県臨床工学技士会として参画したい。

島根県：

- ① 島根県透析医会、島根県医療政策課と共同で災害時透析医療マニュアルを作成中である。それに合わせ、年1回だった会議を年3回行うこととなった。『南海トラフ地震における応急対策職員派遣制度アクションプランの概要』について島根県が高知県様の応援自治体となっているため、高知県様の「高知県南海トラフ地震時 重点継続要医療者支援マニュアル」にある「人工透析に関する情報伝達様式」を島根県でも使用させていただくこととなった。また、県の総合防災会議への初参加、保健所と災害コーディネータとの意見交換会も行うことができた。

高知県：

- ① 総務省より提案されている『南海トラフ地震における応急対策職員派遣制度アクションプランの概要』について高知県は島根県様が応援自治体となっている。

南海トラフ地震における応急対策職員派遣制度アクションプラン 第3 応援編成計画

応援編成計画（重点受援県と即時応援県等の組合せ）

○ 中部地方、近畿地方、四国地方、九州地方のそれぞれが大きく被災する4ケースの被害想定については、顕著な差が見られないことから、応援編成計画については、次の1通りとする。基本となる組合せの即時応援県等は、基本となる組合せ以外の即時応援県等を含む応援隊の役割を担う。

重点受援県	即時応援県 (基本となる組合せ)	基本となる組合せ以外の即時応援県・指定都市				
静岡県	富山県	岩手県	仙台市			
愛知県	福島県	青森県	宮城県	山形県	さいたま市	
三重県	福井県	新潟県				
和歌山県	埼玉県					
徳島県	鳥取県	新潟市				
香川県	栃木県					
愛媛県	群馬県					
高知県	島根県	秋田県				
大分県	佐賀県					
宮崎県	長崎県					

注1 重点受援県は指定都市を含む県を一単位とし、即時応援県等は被災県及び指定都市をそれぞれ一単位とする。
 注2 北海道及び札幌市は、全国の大震災状況に応じて柔軟に割り当てることができるよう即時応援県等から除外している。
 注3 石川県は、現在豪雨・浸水被害にあっており、なお、後継・復興が進展し、応援可能な状態となった後は、北海道及び札幌市と同様に、全国の大震災状況に応じて柔軟に割り当てることができる位置づけとする。
 注4 管内に指定都市が存在する重点受援県（静岡県、愛知県）に対しては、少なくとも1団体以上の即時応援指定都市を組み合わせている。

- ② 高知県の東西を結ぶ幹線道路は海岸線に沿って走っており津波等の被害があった場合に寸断され孤立する地域が多発する可能性がある。また東部にある病院のスタッフは中部地区に住んでいる場合が多く、幹線道路が寸断された場合にその地域の病院はスタッフ不足に陥る可能性がある。そこで高知県災害時医療救護計画の医療従事者搬送計画を活用しヘリにて中部地区から東部地区へスタッフを搬送する方法を検討している。

徳島県：

- ① 昨年度、メーカーによる災害対策セミナーを開催した。（災害に対する透析メーカーの取り組み、医療ケア児への対策）
- ② 今年度開催予定の「第2回徳島県臨床工学技士会」では、災害対策をテーマとしたセッションを企画している。行政の立場からと臨床工学技士の視点から、それぞれの役割や取り組みについてご講演いただく予定である。
- ③ 徳島透析医会より、JHAT（日本災害時透析医療協同支援チーム）への隊員登録が推進されており、臨床工学技士会として会員へのアナウンスを継続して行う。

3. 災害対策委員会での LINE グループについて

引き続き有事の際に災害対策委員会で正確に早急なやり取りができるように、委員の入れ替わりがあれば適時対応していきたい。

LINE グループの運用には特に明確なルールは設けず、研修のお知らせなどラフに使用し普段から連絡の取りやすい関係性を築けるように運用していく。

4. 次回の中四国臨床工学技士会災害対策委員会企画案について

中四国臨床工学会の2日目の9月7日（日）14:45-15:45の60分枠を災害対策委員会の企画枠として確保している。内容は災害対策を想定した通信手段・クラウド運用・サイバーセキュリティ対策などの内容を福井大学医学部附属病院医療情報部の山下芳範先生にご講演していただく予定。

5. その他

- ① 災害時における患者さんの近辺・中間・遠方移動について。
- ② 災害時に転院した透析患者さんの保険点数について。
- ③ 災害時におけるPD用の消耗品や内部バッテリーの稼働時間について。

資料2

- ④ 臨床工学技士が在宅呼吸器の患者さんを支援できると公的機関へアピールする件について。
- ⑤ 保健所とは仲良くしておいたほうがよい件について。
- ⑥ 中四国臨床工学技士会連絡協議会内の委員会報告の際に、肥田副理事長より「日本臨床工学技士会 HP からプリバドにログインしてマイページより『災害被害状況』に入力すると Google を利用して災害被害状況と位置情報を報告できるシステムがある。」と報告があった。

などの話が各県の委員と肥田副理事長から話題提供された。

6. 次回開催日について

引き続き対面で開催したいので、次回の中四国臨床工学会の会期中に開催する。開催場所と日程については井上が各県の委員へ確認・調整してお知らせする。

次回の委員会へは日本臨床工学技士会災害対策委員会担当理事の肥田副理事長にもご参加していただく。

以上